

		2007年	2008年	2009年
①人口:752万人(2010年4月末現在)	④実質 GDP 成長率(%)	5.2	4.0	0.7
②面積:2万 2,072K m ²	⑤貿易収支(米ドル)	△101億 8,870万	△132億 1,070万	△48億 6,300万
③1人当たり GDP:2万 6,797米ドル (2009年)	⑥経常収支(米ドル)	48億 9,200万	13億 4,900万	71億 9,100万
	⑦外貨準備高(米ドル)	285億 6,408万	427億 2,213万	606億 1,561万
	⑧対外債務残高(米ドル)	901億 1,600万	869億 6,800万	910億 1,200万
	⑨為替レート(1米ドルにつき、 シェケル、期中平均)	4.1081	3.588	3.9323

〔注〕②:ヨルダン川西岸・ガザ地区を除く。ゴラン高原、東エルサレムを含む。⑤:ネット

〔出所〕①②⑤:イスラエル中央統計局(CBS), ③⑦⑨:IMF, ④⑥⑧:イスラエル中央銀行

■ 経済が回復し、プラス成長を維持

イスラエルの2009年の実質 GDP 成長率は0.7%のプラス成長となった。2008年秋に発生した金融危機の影響により、2009年第1四半期は、輸出入ともに縮小し、設備稼働率低下と国内設備投資の縮小、大幅な人員整理、賃金カットによる消費の冷え込みが続いたことから、2008年第4四半期に続き、マイナス成長となった。

中央銀行は、政策金利を引き下げ、2009年4月には史上最低水準の0.5%とした。このため第2四半期には、民間消費支出が大幅に伸び、輸出も徐々に回復をはじめるとともに国内投資も回復し、最終的にはプラス成長を達成した。経済回復を受け、中央銀行は2009年9月に政策金利をいち早く引き上げ、その後も段階的に利上げを実施した。為替相場では、現地通貨(NIS)が対ドルで強含みで推移していることに加え、2009年12月以降、欧州の金融不安の影響もあり、対ユーロ為替相場も上昇している。この傾向が長期化すれば、国内の輸出産業に影響が出る恐れがある。

■ 不況の影響大きく、輸出入ともに前年比大幅減

イスラエル中央統計局(CBS)によると、2009年のイスラエルの貿易は、輸出が479億 3,550万ドル(前年比21.9%減)、輸入は473億 6,820万ドル(27.3%減)と、2002年以降初めて前年実績を下回った。欧米地域が輸出入先の大半を占める貿易構造に大きな変化は無く、2009年も輸出の約7割、輸入の約6割を同地域が占めた。貿易収支は、改善の兆しが多少見られるものの、恒常的な赤字傾向が依然続いている。

輸出を品目別にみると、化学製品やゴム・プラスチック製品等の主要品目が前年比約2~6割と大きく減少する中で、電子部品・コンピュータの輸出が前年比88.7%増と堅調で、通信・光学・医療・精密機器も16.4%減と比較的落ち込みが緩やかであり、ハイテク産業が不況下においても輸出を下支えする形となった。ダイヤモンドについては、欧米市場での需要の縮小と価格の下落により研磨済・未加工ダイヤモンドとも縮小し、輸入も同様に減少した。輸入では、原材料、投資財がそれぞれ31.5%減、24.2%減と大幅に減少する中、好調な国内消費を受け、

表1 イスラエルの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ドル, %)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2008年		2009年			2008年		2009年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
工業製品	56,156.2	44,398.8	92.6	△ 20.9	原材料	46,604.0	31,920.6	67.4	△ 31.5
化学製品	13,555.9	10,383.8	21.7	△ 23.4	機械・電子産業向け原材料	7,975.2	6,526.6	13.8	△ 18.2
石油製品	554.7	349.4	0.7	△ 37.0	化学素材	4,396.0	3,585.5	7.6	△ 18.4
通信・光学・医療・精密機器	8,048.9	6,730.8	14.0	△ 16.4	ゴム・プラスチック	2,284.7	1,569.8	3.3	△ 31.3
電子部品・コンピュータ	2,544.3	4,801.7	10.0	88.7	ダイヤモンド(未研磨)	4,798.7	2,660.3	5.6	△ 44.6
ゴム・プラスチック製品	2,116.9	1,527.5	3.2	△ 27.8	ダイヤモンド(研磨済み)	4,566.0	2,657.8	5.6	△ 41.8
輸送機器	1,849.0	2,369.6	4.9	28.2	燃料	12,847.7	8,072.7	17.0	△ 37.2
機械・機器	909.4	715.3	1.5	△ 21.3	投資財	10,269.9	7,787.6	16.4	△ 24.2
ダイヤモンド(研磨済み)	15,521.8	9,430.9	19.7	△ 39.2	機械・機器	7,126.7	5,277.8	11.1	△ 25.9
ダイヤモンド(未研磨)	3,876.0	2,168.0	4.5	△ 44.1	輸送機器	3,143.2	2,509.8	5.3	△ 20.2
農産品	1,225.8	1,229.9	2.6	0.3	消費財	8,239.8	7,600.8	16.0	△ 7.8
					家具・家電製品	1,947.3	1,894.2	4.0	△ 2.7
合計	61,339.1	47,935.5	100.0	△ 21.9	合計	65,173.2	47,368.2	100.0	△ 27.3

〔出所〕表3とも、イスラエル中央統計局(CBS)。

消費財の輸入の落ち込みは7.8%減にとどまった。

国別の貿易動向については、近年、中国やインドからの輸入が大きな伸びを示すなど、アジアとの貿易量が増加傾向にあったが、2009年は他国・地域同様、両国との貿易も大幅に落ち込んだ。アジアの主要国の中では、韓国向けの機械・電気機器類の輸出が大幅に伸び、前年比22.5%増加した。

なお、2010年1～3月期の統計(速報値)によると、輸出全体で前年同期比35.0%増、輸入全体で31.8%増となり、着実な改善を見せている。

■ 対外直接投資は84%減、対内直接投資は65%減

2009年の投資動向は、対外直接投資が前年比84.0%減の11億5,200万ドル、対内直接投資が65.3%減の37億7,100万ドルと、いずれも大幅に減少した。金融危機以降、ベンチャー・キャピタル(VC)や投資銀行による投資資金の引き上げ・凍結などがあり、ベンチャー企業の資金繰りは厳しい状況となっている。VC協会が発表した国内VCによる2009年の投資額は、前年比46%減の11億2,200万ドルと大幅に落ち込んだ。しかし2010年に入り、マイクロソフト、シマンテック、オラクル、モトローラ、IBMなどの世界的な大手企業の国内ベンチャー企業への投資が再開されるなど、好転の兆しが見られる。なお従来は、通信や医療機器関連のベンチャー企業への投資が多かったが、ドイツのシーメンスが環境関連技術のベンチャー

企業へ約4億1,800万ドル(金額は報道ベース)を投資するなど環境分野への投資が見られるようになってきた。

■ 対日貿易は大幅な落ち込み

CBSによると、2009年の対日貿易は、輸出が前年比40.2%減の5億2,760万ドル、輸入が31.6%減の15億2,370万ドルと、他国・地域と比して、大幅な落ち込みとなった。さらに、2010年1～3月期(速報値)は、輸出が前年同期比2.5%増、輸入が9.0%増と、微増に留まっており、金融危機以前の水準に戻るには、まだ少し時間がかかる見込みである。

対日貿易における輸入超過の傾向は変わらず、また輸送機器(自動車)が対日輸入での大きなシェア(65.6%)を占める構造も、従来と同様である。

二国間のビジネス交流は、これまではハイテク産業が中心であったが、最近では他分野にも拡がりを見せている。イスラエル発のガミラシークレットやサボン等の天然石鹸や化粧品品の専門ショップに加え、ミハエル・ネグリンやラロ・トレジャーズといったアクセサリ専門ショップが続々と日本にオープンし、若い女性をターゲットとしたビジネスを展開している。

またここ数年、イスラエルでは、Zara、GAP、H&Mといった海外アパレル・ブランド・ショップが続々と新店舗をオープンし、ショッピングモールの目玉スポットとして大いに賑わいを見せている。日本企業では「(無印良品(MUJI))」を展開する良品計画が、2011年中にイスラエルに出店を予定している。

表2 イスラエルの業種別ベンチャー・キャピタル投資受け入れ額 (単位:社, 100万ドル, %)

	2007年		2008年		2009年			
	企業数	金額	企業数	金額	企業数	金額	構成比	伸び率
通信	93	371	108	516	71	219	19.5	△57.6
ソフトウェア	92	235	108	407	87	258	23.0	△36.6
ライフ・サイエンス	96	351	80	318	116	272	24.2	△14.5
インターネット	71	257	67	284	69	147	13.1	△48.2
半導体	32	327	53	323	36	93	8.3	△71.2
環境技術	15	72	30	84	36	80	7.1	△4.8
その他	63	146	37	144	32	53	4.7	△63.2
合計	462	1,759	483	2,076	447	1,122	100.0	△46.0

[出所]イスラエル・ベンチャー・キャピタル協会(IVC)リサーチ・センター。

表3 イスラエルの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ドル, %)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)				
	2007年	2008年	2009年			2007年	2008年	2009年		
	金額	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	金額	構成比	伸び率
化学製品	96.1	139.4	98.0	18.6	△ 29.7	89.8	105.2	89.1	5.8	△ 15.3
宝石・貴金属	103.4	90.9	57.0	10.8	△ 37.3	77.9	76.7	61.4	4.0	△ 19.9
卑金属	78.4	83.4	46.7	8.9	△ 44.0	552.2	705.4	249.5	16.4	△ 64.6
機械・電気機器類	179.4	308.3	136.6	25.9	△ 55.7	1,028.0	1,197.7	999.8	65.6	△ 16.5
光学・医療機器	229.8	173.8	127.5	24.2	△ 26.6	74.1	79.4	81.6	5.4	2.8
合計	769.6	883.0	527.6	100.0	△ 40.2	1,882.1	2,226.7	1,523.7	100.0	△ 31.6